

## タイコウチ

前脚を交互に動かしながら泳ぐ姿が、太鼓を打っているように見えることからタイコウチと呼ばれています。

水生のカメムシの仲間です。

体長は 35mm ほどで、前脚が鎌状でお尻に長い呼吸管があります。

田んぼなどの浅い水域に生息しています。冬などに水が無くなると、水のある場所に飛んで移動します。

肉食性で、水草などに隠れてエサとなる小魚やオタマジャクシなどをじっと待ちます。捕まえると、口から消化液を出し、溶けた肉液をすすります。

11月ころになると、陸や水中で越冬します。4月ころに目覚めた成虫は5月～8月に交尾し、コケなどの湿ったところに産卵します。



### 富士市での現状

松野の田んぼの水路やこどもの国で確認されました。

田んぼや池の埋め立てや圃場整備（ほじょうせいび）などによる生息地の消滅やエサの減少などにより、個体数が減少していると考えられます。

### タイコウチを確認したメッシュ

